

令和4年度学校自己評価システムシート（県立所沢中央高等学校）

目指す学校像	節度ある生活、考える授業、達成感の持てる部活動を通じて希望の進路をかなえる学校
--------	---

重点目標	1 規律ある生活態度と自主的に行動する姿勢を養う。 2 自ら学び考える環境を整え、希望の進路の実現を図る。 3 保護者・地域との連携のもと、積極的な活動を促す。
------	--

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	13名
	生徒	14名
	事務局(教職員)	6名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価						
年度目標			年度評価（3月16日現在）			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	
1	<p>○ コミュニケーション能力の向上と基本的な生活規律を身に付けることを重点とし、生徒へ積極的に促す。様々なルール、マナーへの理解、日々の挨拶、遅刻件数の減少等は日々の継続した努力が求められる。</p> <p>○ コロナ禍であり行事の内容の変更、規模の縮小をせざるを得ない状況ではあるが、生徒会本部を中心に運営、情報発信が活発に行われている。引き続き対策をしつつ、学校全体の活性化を継続し、以前の状態に戻していきたい。</p>	<p>○ 基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、規範意識の向上とマナーアップを意識させる。</p> <p>○ 感染症防止対策を施しつつ、魅力ある行事の企画、運営を行う。ライブ配信や映像等を活用し、生徒の希望を汲みつつ行事への参加意識、積極性を引き出す内容とする。</p>	<p>① 主任ならびに各学年の生徒指導部を中心とし、全教職員で統一した生徒指導への取り組みを要請し組織的に行っていく。</p> <p>② 全教職員で必要情報を迅速に共有し、各生徒の必要に応じて外部機関との連携を図る。</p> <p>① 生徒会本部と各委員会が円滑に連携し、行事に関する情報を発信する。</p> <p>② 活動を映像等で記録し、全教職員の意見も参考に課題や改善点を見出す。その総括を生徒会中心に以後活用する。</p>	<p>① 現代の社会状況に応じて、指導内容を適宜見直し、全教職員で共有し進められたか。</p> <p>② 地域の方々等の意見に真摯且つ適切な対応を心掛け、双方で良好な関係を築けたか。</p> <p>① 準備をしっかりと行い企画運営した行事に対し生徒一人一人が参加意識、達成感を持つことが出来たか。</p> <p>② 現状に対応しつつ、過去の課題や問題点を改善しより良い運営を行うことができたか。</p>	<p>① 基本的な生活習慣の指導については組織的な対応ができています。遅刻数は学校全体で1日当たり1.92人ととても少ない。問題行動の指導については、学年間の連携が必要である。</p> <p>② 外部からの苦情は減っているが、自転車・バス乗車のマナーについては、継続した指導が必要である。</p> <p>① 条件付きではあるが、体育祭・文化祭を一般公開し、保護者や中学生に來校していただいた。生徒・保護者・教職員が協力して開催することで、生徒に達成感を味あわせることができた。</p> <p>② 行事については感染症予防対策を講じて企画し、全生徒が参加する形で開催することができた。</p>	<p>B</p> <p>来年度も、生徒指導部会や各学年会議などを通じて、生徒に係る情報の共有を迅速に進め、適切な対応を執っていききたい。校外での生活マナーについての指導も継続的かつ粘り強く行う必要がある。</p> <p>A</p> <p>引き続き、感染拡大防止対策をとりながら、従来の行事運営ができるまで、ライブ配信や映像を活用し全生徒が参加する形での行事を踏襲していく。</p>
2	<p>○ 学習環境を整える前提として、十分な授業時間を確保したい。</p> <p>○ 自己の進路に対する早期の意識付けは定着しつつある一方、進路実現に向けた積極的・主体的取組みが不十分である。</p>	<p>○ 行事を充実させるとともに授業時間を十分に確保する。</p> <p>○ 保護者と連携し積極性・自主性を促す進路活動により、生徒の進路意識を更に高める。</p>	<p>① 授業と行事についてバランスの取れた年間行事計画を作成し、学期ごとの実情に合わせて日程の調整を行う。</p> <p>② 個別の学習支援を特に力強く行う。また、進路指導ボランティアも活用していく。</p> <p>③ 実力テストや各分野の説明会を通し学習活動の充実と現状認識の向上を図る。</p> <p>④ 保護者へ進路だよりや各種冊子、面談等を通じて情報を共有する。</p>	<p>① 各教科が授業時間を確保しつつ充実した授業が行えたか。</p> <p>② 生徒のニーズを把握し個別最適な支援ができたか。また進路指導ボランティアは有効に活用できたか。</p> <p>③ 説明会が適切に実施されたか。実力テストの結果を進路実現に反映できたか。</p> <p>④ 保護者への情報発信の機会と内容は適切だったか。</p>	<p>① 学期末の特編を除き、総授業時数1844時間とほぼ予定どおりの授業時間を確保した。曜日や時限の調整を行い、各教科の授業時間数を平均化した。</p> <p>② 面談を通して生徒の進路希望を把握し、進路ボランティアを活用しながら個別の指導を行うことができた。</p> <p>③ 試験の種別や科目ごとの説明会を開き、進路選択に係る生徒理解を深めることができた。また、外部テスト・模試を活用し、進路実現につなげることができた。</p> <p>④ 「進路のてびき」を配布したり、講演会を開いたりして、多くの情報を保護者・生徒に伝えられた。</p>	<p>A</p> <p>推薦受験をする生徒が多い本校にとっては、これまで通りの個別の面接指導や小論文指導が適切だと感じる。教員の負担軽減のためにも外部人材は積極的に活用していきたい。保護者向けの講演会等では、よりニーズを的確に把握したうえで内容を精選して伝えたい。</p>
	<p>○ 美化委員会を中心とする活動は主体的かつ計画的に運営されている。今後も校内の美化・緑化を中心に生徒が主体的に生活環境を整備する意識を向上させていきたい。</p> <p>○ 授業・放課後の図書館活用の機会が増えている。これに応える資料と生徒の読書意欲向上や教科学習・進路に役立つ蔵書作りを進め、さらなる利用者の増加を図りたい。</p>	<p>○ 感染防止対策を踏まえた美化活動を生徒に意識づける。</p> <p>○ 主体的に緑化・美化に関わる意識を向上させる。</p> <p>○ 資料を充実させ、読書向上意欲や授業・学習環境を整える。</p>	<p>① 除草作業を含めて春秋の年に2回の植栽活動を美化委員会中心に計画的に実施する。</p> <p>② 美化委員会を中心にゴミの分別、食べ・飲み歩き禁止をポスター掲示等で呼びかけていく。</p> <p>③ 適切に選書・除籍を行い、アンケートや図書委員を活用し、利用者の声を反映させる。</p>	<p>① 効率のよい植栽活動のために適切な準備ができ、積極的に参加したか。</p> <p>② 感染拡大防止のために、ゴミの分別処理等の美化活動が適切に運営できたか。</p> <p>③ 利用者・授業者の希望に応える資料と環境を用意できたか。</p>	<p>A</p> <p>① 年2回の生徒による校内の植栽活動を行い校内美化に努めた。</p> <p>② 美化委員会を中心とした緑化活動、清掃活動（特にゴミの分別）により、生徒の美化意識を高めることができた。</p> <p>③ 貸出利用冊数は約5200冊、授業での利用回数は約200時間（昨年並み）であり、利用者のニーズに応えている。また図書委員会を頻繁に開き、読書推進に貢献できた。</p>	<p>A</p> <p>校内美化への意識の向上の他、感染防止対策の一環としてのペットボトルの水洗浄廃棄の徹底について、今後も継続的に呼びかけていく。</p> <p>引き続き生徒・教職員のリクエストなどを反映させた選書を行っていく。</p>
3	<p>○ 学校説明会やホームページを通して、本校の特徴や行事の魅力を伝えたい。</p> <p>○ 地域や保護者の本校に対する評価は高く、強く支持されている。近隣やPTAからの要望に応えつつさらに協力関係を深めていきたい。</p>	<p>○ 本校の教育活動などについての発信をする。</p> <p>○ 社会情勢の変化に合わせて、保護者や外部へ情報を伝達していく。</p>	<p>① 教職員全体で情報発信するしくみを構築する。</p> <p>② ホームページなどの情報伝達ツールを活用し、保護者や地域に必要な情報を発信していく。</p>	<p>① 年間を通じて、ホームページに新情報をアップできたか。</p> <p>② 社会情勢の変化に応じた情報伝達が適切にできたか。</p>	<p>A</p> <p>①-1 学校説明会を生徒が参画する形で開催し、参加者から好評を得ることができた。</p> <p>①-2 HPについては、可能な限り記事を更新し、23万件超（8月～2月）の閲覧数があった。部活動のページは随時更新が望ましかった。</p> <p>②-1 PTA行事の申し込みにインターネットを活用した。「PTA広報誌」を2回発行した。</p> <p>②-2 地域のボランティアに積極的に参加し、感謝状までいただくことができた。</p>	<p>A</p> <p>各部活動・学年にもホームページの更新をお願いする。安心、安全メールによる発信を進めていきたい。</p>

学校関係者評価
実施日 令和5年2月4日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>・遅刻は極めて少ないと思う。先生方の指導、保護者の協力、生徒の皆さんの自覚があってこの数字である。</p> <p>・SNS等新しい問題については、生徒達が自分たちでルールをつくって守っていくように指導してほしい。</p> <p>・校門の前を通ると生徒の皆さんがよく挨拶をしてくれてとても気持ちが良い。今後とも続けて欲しい。</p> <p>・コロナ禍の中、保護者が少しずつ学校行事に参加できるようになって嬉しく思う。バスの乗車マナー等の指導については、PTAとしても協力していきたい。</p>
<p>・部活動に多くの時間を割かれて家庭学習の時間を確保できない生徒も少なくないと思うが、その代わり授業は集中して受けて欲しい。</p> <p>・生徒の進路希望を達成させるためには厳しさも必要である。引き続き支援してほしい。</p> <p>・学習習慣を確立させるためには、生徒が勉強の大切さを自覚するまで粘り強く指導する必要がある。</p> <p>・業者や外部の人材、保護者等の力を総動員して1人ひとりに手厚く進路指導をしていただいております。</p> <p>・学校説明会で、生徒会の皆さんが生徒の目線で学校の様子を説明するのはよい取組だと思う。中学生とその保護者に学校の良いところがよく伝わると思う。</p> <p>・他校では、緊急時だけでなく普段の連絡にもHPやメールを活用しているようなので、検討して欲しい。</p>
<p>・働き方改革のためにも、通知の電子化を図った方がよい。HPの更新等については、外部の人材の活用を検討してもよいのではないかと。</p> <p>・同窓会としても皆さんの活躍を見ていることを忘れてほしい。</p>